

新宮山彦ぐるーぷ第1833回―2

持経宿・仮薪置場薪移管と廃材置場積替え及びNHK取材協力

◇実施日：平成27年08月09日(日) 晴時々曇

◇参加者：玉岡憲明、沖崎吉信、川島 功、橋本 梓、畑清子、

木下嘉彦、斉藤基樹・NHK和歌山テレビ記者。

計7名。

沖崎車(玉岡・橋本・畑清)、木下棟梁車、川島車(橋本氏乗換)が山路・サークルKで合流し、北山村で前泊の斉藤記者と池原スポーツ公園で合流。斉藤記者は、玉岡さん同乗の沖崎車に乗換。

持経宿に到着後、斉藤記者は改築後の持経宿撮影と玉岡前代表等から取材。

仮薪置場から新規薪小屋への薪運びは、木下棟梁・斉藤記者も手伝って頂き運ぶ。棚に入り切らず、持経宿階下と薪小屋通路部にも置き、何とか仮薪置場から全て薪を移し終え、沖崎氏差入れの冷えたハウスミカンで休憩。

休憩後、沖崎氏は持帰り処分するベニヤ板を小片にして袋詰め。



昼食懇談中

橋本・川島は、三叉路の2カ所の廃材置場の廃材を道路路端より約5m下の生木桧を支えにして廃材土台を置き、廃材を積替える。

廃材を積終えた12時前に持経宿に戻り昼食。

昼食後、木下棟梁から色々とアドバイスを頂き、網戸設置の計測をされ、前鬼・小仲坊のお堂補修工事準備のため下山。

廃材置場に廃トタンを被せ廃材置場完了。廃トタンは、道路端2箇所仮置きし、児嶋さんが仮薪置場の単管パイプ持帰り時に、一緒に積込み持帰り処分したい。

この間に、便槽の汲み出しが行われた。川島はお堂の前側軒天井に目隠しの化粧材を打付け。橋本氏は、ステンレス雨水槽の排出口モルタルを石ノミではつり、径70mmの塩ビパイプを差し込みモルタルで固めた。これで次回排水パイプを連結させ、雨水槽に雨水を貯める事が出来る。



本日午後の作業者

作業者全員の写真を撮り下山の為、川島車Uターンすると左後輪パンクしていた。スペアタイヤに交換し、細心の注意を払い池原スポーツ公園に戻り、斉藤記者と別れる。沖崎車は川島車の後続から見守っていた。だき無事帰宅した。

尚、テレビ放映は、お盆過ぎ頃との事。

行動タイム

新宮7:00→8:55持経宿→薪移管→10:30休憩→11:50昼食12:50
↓作業→持経宿14:45→池原15:30→16:50新宮。

(記 川島)